

### 第3節 国際障害者年記念事業

福島県国際障害者年推進本部で策定された行動基本計画に基づき、障害者に対する理解・認識の推進を目標として実施した事業の概要は、次のとおりである。

#### (1) 国際障害者年記念福島県養護教育振興大会

① 期 日 昭和56年7月17日(金)

② 会 場 福島県文化センター小ホール

③ 参会者 約750名

④ 内 容 ア 養護教育への提言  
イ 記念講演 作家 水上勉  
ウ アトラクション

器楽合奏 県立聾学校中学部

合 唱 県立福島西女子高等学校

#### (2) 国際障害者年記念福島県養護教育総合学習発表会

会 場	期 日	参 加・観 覧 者 数	演 目
郡山市視聴覚センター	昭和56年10月8日(木)	928名	劇 5 音楽関係 7
福 島 市 公 会 堂	昭和56年11月12日(木)	808名	劇 7 音楽関係 5

#### (3) 国際障害者年記念福島県養護教育総合作品展示会

会 場	期 日	出 品 校 数	-出 品 点 数	来 会 者 数
郡山市児童文化会館	昭和56年11月28日(土)～30日(月)	44校	737点	約 1,200名
いわき市文化センター	昭和57年1月23日(土)～25日(月)	56校	1,073点	約 1,300名
会津中合テパート	昭和57年1月29日(金)～31日(日)	70校	723点	約 2,000名
福 島 市 市 民 会 館	昭和57年2月6日(土)～8日(月)	54校	823点	約 1,900名
計		224校	3,356点	約 6,400名

#### (4) 国際障害者年記念出版事業

- ① 書名 「共に学び、共に生きるきずなを広げて」  
——養護教育交流推進事業実施報告書——
- ② 部数 2,000部 (B5版、80ページ)
- ③ 内容 障害児が積極的に社会に参加しようとする態度・能力を養うとともに、健常児の障害児への理解を深める」ことを目的として、昭和54・55年度に実施した事業の成果のまとめ  
ア 交流の基本的な考え方  
イ 交流の計画と実施  
ウ 交流の反省と展望
- 3月上旬、関係機関・学校等に配布した。

#### (5) 養護教育センター建設の推進

5月27日 養護教育センター基本構想検討委員会発足  
12月16日 養護教育センター基本構想報告書提出  
・報告書の概要

- ① 目的 ア適正な就学指導 イ担当教員の研修  
ウ教育内容の充実 エ養護教育の啓発・振興
- ② 性格 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第30条に基づく教育機関として、心身障害児総合療育センターと相互に機能連携を図る
- ③ 機能 ア教育相談 イ研修・研究 ウ調査・振興  
エ地域との連携
- ④ 建設予空地 郡山市富田町 現郡山療育園地内

#### ⑤ 養護教育センター基本構想検討委員名簿

(50音順)

区 分	氏 名	役 職 名
委 員	今泉 龍造	郡山市教育委員会委員長
"	上野 文弥	福島県精神衛生センター所長
"	太田 緑子	福島県養護教育振興会会長
"	片岡 義信	福島大学教授
"	金沢 英夫	福島県養護教育学校長会会長
"	鬼満 雅	福島県郡山療育園長
"	佐藤 平	日本大学工学部教授
"	三瓶 秀次	福島県養護教育研究会会長
"	辺見栄之助	福島県教育委員会教育長
"	武藤 義男	三春町教育委員会教育長
"	吉原 勝次	福島県養護教育学校PTA連合会会長

#### ◎事 務 局

心身障害児総合療育センター(仮称)部会  
福島県生活福祉部障害福祉課

課長 佐藤 泉

養護教育センター(仮称)部会

福島県教育庁養護教育課 課長 舟山 昇